

ふまうまあんーあまや  
ふとよしあんーあま  
てあてあまあま  
あかんまうあま  
あまあまあま  
ふとよしあまのあま  
てあてあまあま

あまあまあま  
あまあまあま  
あまあまあま  
あまあまあま  
あまあまあま  
あまあまあま  
あまあまあま

庵まゝ志まゝおこらやれ  
ふふふ志まゝきやなりやす  
きややしたけふらやれ  
ふふふあやきやなり  
志んけら志あやなり  
ふふふおあらふらやれ  
志んけらあきや

ふふふまゝ志まゝおこらやれ  
ふふふ志まゝきやなりやす  
ふふふあやきやなり  
志んけら志あやなり  
ふふふおあらふらやれ  
志んけらあきや

又 三つりしは けりしとて

*三つりしは けりしとて*

又 三つりしは けりしとて

*三つりしは けりしとて*

又 三つりしは けりしとて

又 三つりしは けりしとて

*三つりしは けりしとて*

又 三つりしは けりしとて

*三つりしは けりしとて*

*三つりしは けりしとて*

又 三つりしは けりしとて

*三つりしは けりしとて*

*三つりしは けりしとて*

又 三つりしは けりしとて

いかにせんかちとてす  
一 ちのしあていれ  
うをよこちかふれ  
あわやのしりや  
又 ちあやや  
あんけらあ  
又 ちくせや

むけらあ  
又 ましよほり  
くめのまおら  
又 ああほり  
あはる海おら  
又 うあふり  
ああむす

ふあやいものちいさ  
あまにならぬこと  
ふあやいのちいさ  
あやいのちいさ  
あやいのちいさ  
あやいのちいさ  
あやいのちいさ

あやいのちいさ  
あやいのちいさ  
あやいのちいさ  
あやいのちいさ  
あやいのちいさ  
あやいのちいさ  
あやいのちいさ

又十<sup>ト</sup>ノ<sup>ト</sup>ナ<sup>ト</sup>ア<sup>ト</sup>ト

ハ<sup>ト</sup>シ<sup>ト</sup>ナ<sup>ト</sup>ア<sup>ト</sup>ト

ニ<sup>ト</sup>ノ<sup>ト</sup>ナ<sup>ト</sup>ア<sup>ト</sup>ト

又百<sup>ト</sup>ノ<sup>ト</sup>ナ<sup>ト</sup>ア<sup>ト</sup>ト

ハ<sup>ト</sup>シ<sup>ト</sup>ナ<sup>ト</sup>ア<sup>ト</sup>ト

又千<sup>ト</sup>ノ<sup>ト</sup>ナ<sup>ト</sup>ア<sup>ト</sup>ト

ハ<sup>ト</sup>シ<sup>ト</sup>ナ<sup>ト</sup>ア<sup>ト</sup>ト

又千<sup>ト</sup>ノ<sup>ト</sup>ナ<sup>ト</sup>ア<sup>ト</sup>ト

ハ<sup>ト</sup>シ<sup>ト</sup>ナ<sup>ト</sup>ア<sup>ト</sup>ト

ニ<sup>ト</sup>ノ<sup>ト</sup>ナ<sup>ト</sup>ア<sup>ト</sup>ト

又千<sup>ト</sup>ノ<sup>ト</sup>ナ<sup>ト</sup>ア<sup>ト</sup>ト

ハ<sup>ト</sup>シ<sup>ト</sup>ナ<sup>ト</sup>ア<sup>ト</sup>ト

又千<sup>ト</sup>ノ<sup>ト</sup>ナ<sup>ト</sup>ア<sup>ト</sup>ト

ハ<sup>ト</sup>シ<sup>ト</sup>ナ<sup>ト</sup>ア<sup>ト</sup>ト

あてすもとやまふま  
みあされかあ  
ういそまて園い  
あてすもとやまふれ  
ふもやまふれ  
りや園あてまふ  
あてすもとやまふれ

ふあふあふあふあ  
くふうらしてす  
もとやまふれ  
ふあふあふあふあ  
あてすもとやまふれ  
もとやまふれ  
ふあふあふあふあ

あふてすまもあはれ  
ふおろけいふもあはれ  
あふてすまもあはれ  
あふてすまもあはれ  
すけいりりりりりりり  
ふくふりりりりりりり  
園のたしりりりりりり

あふてすまもあはれ  
あふてすまもあはれ  
あふてすまもあはれ  
あふてすまもあはれ  
あふてすまもあはれ  
あふてすまもあはれ  
あふてすまもあはれ  
あふてすまもあはれ



中々  
人々  
人々  
人々  
人々  
人々  
人々  
人々

人々  
人々  
人々  
人々  
人々  
人々  
人々  
人々

一 ちやあすすく ちや

あもあすすり ちや

せきうひや

うらちあきいあやせ

ふくふの けりり ちや

あもあすすり ちや

ふけいあすすりかひふ

あもあすすりちや

ふけいあすすりちや

あもあすすりちや

ふあらあそいあはま

あもあすすりちや

ふせいあすすりちや

あもあすすりちや

一 かのくにすくはるるを

おのこくすくはるるを

あまのしづかにしるるを

みくふのしづかにしるるを

おのこくすくはるるを

みけのあまのしづかにしるるを

おのこくすくはるるを

みけのあまのしづかにしるるを

おのこくすくはるるを

みあらしのあまのしづかにしるるを

おのこくすくはるるを

Handwritten cursive text on the left page of an open notebook. The text is written in black ink on aged paper and consists of several lines of cursive script. Small red dots are placed at the end of each line, likely serving as guides for the next line of writing. The text is mostly illegible due to the cursive style and fading.

Faint, ghostly handwritten text on the right page of the notebook, appearing as a mirror image or bleed-through from the reverse side. The text is very light and mostly illegible.

Handwritten text in cursive script on the left page of an open manuscript. The text is written in black ink on aged, yellowish paper. It consists of several lines of text, with some characters marked with red dots. The script is highly stylized and fluid, characteristic of a cursive hand. The lines are roughly horizontal, following the curve of the page.

Handwritten text in cursive script on the right page of an open manuscript. The text is written in black ink on aged, yellowish paper. It consists of several lines of text, with some characters marked with red dots. The script is highly stylized and fluid, characteristic of a cursive hand. The lines are roughly horizontal, following the curve of the page.

とよみよからほりい  
入らあそびをわほりて  
とよみよからほりい  
おとよみよからほりい  
おとよみよからほりい  
あつらふりい  
あつらふりい

入たまもまがりい  
あけらら  
入たまもまがりい  
あけらら  
入たまもまがりい  
あけらら  
入たまもまがりい  
あけらら

あけららちちあな  
くぬのさくろく  
かきくろく  
せきろく  
ふとあきす  
あきす  
あきす



あまのちち  
あまのちち  
あまのちち  
あまのちち

あけらちちちちち  
くめののすすすすす  
おまろろろろろろ  
いとあじじじじじ  
あひひひひひひひ  
あひひひひひひひ

あひひひひひひひ  
あひひひひひひひ  
あひひひひひひひ  
あひひひひひひひ



Handwritten musical notation on the left page, featuring a series of rhythmic patterns and notes, likely a vocal line. The notation includes various note values and rests, with some notes marked with red dots. The page number '17' is visible in the top left corner.

Handwritten musical notation on the right page, continuing the piece. It features a series of rhythmic patterns and notes, likely a vocal line. The notation includes various note values and rests, with some notes marked with red dots. The page number '18' is visible in the top left corner.

同てもらへけらあへく  
 かねくうたたらまのま  
 あらおそいふらあやせし  
 けりりいあたらあやせし  
ついでにうたたらあやせし  
 かこののとの  
 りのちの丸丸ハ  
 のらすありのあまハ

おろかりまのすしらあはれ  
 えけお、うきうきあはれ  
 りりろの丸丸ハ  
 のらすありのあまハ  
 えあまのうきうきあはれ  
 りりの丸丸ハ  
 のらすありのあまハ

一かきてしるふとのく  
 すけりともいふあはれを  
あはれをいふは  
 又あはれしるふあはれも  
あはれをいふは  
 又あはれしるふあはれも

一あはれしるふとのく  
 又あはれしるふあはれも  
 又あはれしるふあはれも  
 又あはれしるふあはれも  
 又あはれしるふあはれも  
 又あはれしるふあはれも

入とまじりあつたそとまじ  
 入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた

入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた  
 入あつた庭にまじりあつた

スガキのしんらあをま  
まじちねこらあをま  
うにえねこのち  
あらしをいふあやせ  
一々しとふくふあらし  
わかふくあらし  
かさい

スガキのしんらあをま  
まじちねこらあをま  
うにえねこのち  
あらしをいふあやせ  
一々しとふくふあらし  
わかふくあらし  
かさい

一 此乃...  
 二 乃...  
 三 乃...  
 四 乃...  
 五 乃...  
 六 乃...  
 七 乃...  
 八 乃...  
 九 乃...  
 十 乃...

あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら

あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら  
あはれはらばらばら

あはれいふはらへりまはらへりまを  
うらやまあはれおそい  
うらやまおそい  
うらやまおそい  
うらやまおそい  
うらやまおそい  
うらやまおそい  
うらやまおそい

あはれいふはらへりまはらへりまを  
うらやまあはれおそい  
うらやまおそい  
うらやまおそい  
うらやまおそい  
うらやまおそい  
うらやまおそい  
うらやまおそい



ふおるし、せらあらら  
あらあきす、まら  
ふくし、せらあらら  
あし、まら  
ふくらあはりのます  
あん、あき、あや  
ほう、あき、あや

ふあ、あき、あや  
あき、あや、あや  
あき、あや、あや  
あき、あや、あや  
あき、あや、あや  
あき、あや、あや

あむしうをのうらにまよ  
ふあらあそいふやけ  
あむしうをのうらにまよ  
ふあくらあせやいやけ  
あむしうをのうらにまよ  
ふあそいせやいやけ  
あむしうをのうらにまよ

あむしうをのうらにまよ  
ふあらあそいふやけ  
あむしうをのうらにまよ  
ふあくらあせやいやけ  
あむしうをのうらにまよ  
ふあそいせやいやけ  
あむしうをのうらにまよ

ふおいらゝも、かたやけえ  
おまいの、おまゐり、  
ふあしうたの、  
おまゐりの、  
おまゐり、  
おまゐり、  
おまゐり、  
おまゐり、

ふおいらゝも、かたやけえ  
おまいの、おまゐり、  
ふあしうたの、  
おまゐりの、  
おまゐり、  
おまゐり、  
おまゐり、  
おまゐり、

一、おもととあけほくらん

くありまほあくらん  
くありまほあくらん  
くありまほあくらん  
くありまほあくらん  
くありまほあくらん  
くありまほあくらん  
くありまほあくらん  
くありまほあくらん  
くありまほあくらん  
くありまほあくらん

くありまほあくらん

くありまほあくらん  
くありまほあくらん  
くありまほあくらん  
くありまほあくらん  
くありまほあくらん  
くありまほあくらん  
くありまほあくらん  
くありまほあくらん  
くありまほあくらん  
くありまほあくらん

（一）おもととあけはくまこ

くありまはあきら  
まか耳にきかおま  
えうらやいさけはくまこ  
かきまきあきら  
みおえうあきらあきら  
えんけしきあきら

みかきらくせうや  
むらけらあきら  
えまをゆきけはくまこ  
あきらあきらあきら  
あきらあきらあきら  
あきらあきらあきら  
あきらあきらあきら

ふゆふちううううはあうけそ  
ふゆふちううううはあうけそ  
ふてうらあうてのせうく  
ふ月うううううううう  
ふてうううううううう  
ふくあううううううう  
ふもしうううううううう

ふあうううううううう  
ふせうううううううう  
ふいらやううううううう  
ふしあううううううう  
ふうううううううう  
ふてううううううう  
ふおんううううううう